令和７年度特定非営利活動に係る事業計画書

令和７年度特定非営利活動に係る事業計画書

1 事業実施の方針

令和 7 年度は、法人の収益事業である、お産と産後ケアに引き続き力を入れていきます。また、昨年度行った開業支援講座の見直しを行い、開業を目指す助産師の支援をしていきます。
その他、ははこ庵という好立地を生かして、食や交流イベントを確実に実施できるようにしていきます。他団体との交流を積極的に行い、私たちが提供できることをアピールしていきたいと考えています。

（1）助産所事業では、転院 0 にするべく、体調管理として妊婦さんに食事の写真を送ってもらい、詳しく食事指導するなどして体調管理を徹底します。また、産後ケアでも、次のお産の選択肢に若草助産院が入るよう、意識してケアしていきます。助産院を知ってもらえる良い機会なので、最大限にチャンスを活かせるよう努めます。保育園への出張施術も施術後アンケート調査をまとめ、結果をもとに他園にも呼び掛けていきます。SNS 発信、DVD 上映会などを通じて、年代性別問わず助産院への認知を高め、新しい顧客層への広報活動を行なっていきます。また女性の健康相談、保健指導を年齢を問わず幅広い層に行っていきます。

（2）千葉市の委託事業である産後ケア事業に力を入れていきます。当院独自の、民間療法を活用したケア、無添加調味料、酵素玄米ご飯、無添加洗剤、石鹸の使用、リネンもこだわりなど、お母さんと赤ちゃんも安心して過ごせる施設であることをアピールしていきます。また、行政に対しても、光熱費、ガソリン代、食費高騰のため産後ケア事業の事業所負担を減らすよう、費用の引き上げなど要望していきます。

（3）健康・食事相談や指導を行っていきます。オンラインによる相談、講座も行います。

（4）会報は、担当を決め年 5～6 回の発行を目指します。そのほか、SNS 発信も継続していきます

（5）飲食、軽食の提供イベント、学習会、交流会などの開催を組み合わせた企画を行なっていき、集客の増加を目指します。

（6）いいお産の日のイベントを 11 月 3 日前後に開催します。また情報発信、情報交換などを目的とした交流会も状況を見て数回程度開催します。

（７）玄米酵素販売に力を入れていきます。健康補助食品ですが、効果は検証されており、自信をもって進められる商品です。健康を推進する当団体の方針にマッチしたものですし、利益につながるよう興味のある方に進められるようにしていきたいです。

２　事業の実施に関する事項

事　業　名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
助産所事業	妊婦健診、分娩、保健指導、教室開催	通年	若草助産院	13 人	妊産婦および乳幼児、女性
産前・産後支援事業	千葉市産後ケア事業	通年	千葉市内、助産院	8 人	産婦延べ 280 人
出産育児、教育、食、健康に関する情報・サービスの提供事業	会報、およびホームページ、ＳＮＳ等による情報の提供	通年	Web	3 人	おもに妊娠出産育児中の方、及び健康に関心のある方
	食事・健康相談	通年	助産院他	2 人	一般
出産育児、教育、食、健康に関する書籍、物品、食品等の販売事業	健康、および生活の向上に寄与する物品等の普及を図る	通年	若草助産院他	5 人	おもに妊娠出産育児中の方、及び健康に関心のある方
市民が集い交流する場の提供、および飲食物の提供事業	いいお産の日イベント	年 1 回	若草助産院等	6 人	一般 20 人
	生協試食会	年 4 回	ははこ庵	3 人	一般 20 人
	マルシェ	年 2 回	ははこ庵	3 人	一般 80 人
	新春コンサート	年 1 回	ははこ庵	2 人	一般 20 人
	DVD 上映会	年 5 回	ははこ庵	2 人	一般 30 人
イベント・講座の開催および講師の派遣事業	学習会の開催	年 3 回	ははこ庵	4 人	一般 15 人
	マナビレイキ	年 5 回	若草助産院	1 人	一般 20 人
	若草ご飯の会	年 10 回	ははこ庵	3 人	一般 50 人
	味噌作り教室	年 1 回	公民館等	3 人	一般 10 人
	発酵食品入門講座	年 2 回	ははこ庵等	2 人	一般 8 人
	助産師向けスキルアップ講座	年４回	若草助産院	3 人	助産師 10 人
	講師の派遣	随時	千葉市周辺	3 人	−
	レイキ伝授	随時	若草助産院	1 人	一般 3 人